

## 平成22年度 鍼灸学ユニット研究活動状況

### A. 構成メンバー

若山育郎、錦織綾彦、榎田高士、川本正純、吉備 登、坂口俊二、木村研一、中吉隆之、山崎寿也

### B. 研究活動の概要

- ユニット会議において以下のことを決定した。
  - ユニットの研究は、個人研究、グループ研究、共同研究の3種類とする。
  - 個人研究は従来通り遂行する。
  - グループ研究では必要に応じて学外を含むユニット外研究員の協力を得ることとする。
  - 共同研究は、ユニット全員で分担することとする。
- ユニット共同研究（ユニット全員参加型研究）の内容について継続的に検討する。
- 個人研究、グループ研究活動報告  
以下の各テーマに沿って、個人およびグループ研究（学外との共同研究含む）を行った。
  - ＜若山育郎＞
    - うつ病に対する鍼治療効果についてのシステムティックレビュー  
＜榎田高士＞
    - HCV は鍼治療で用いる毫鍼によって感染するかについての検討
    - 鍼灸臨床における手洗い・消毒についての細菌学的検討  
＜吉備 登＞
    - 変形性膝関節症に対するはり・きゅう治療の臨床的効果
    - 医療系学校の統合医療に関する調査
    - 睡眠障害患者における鍼灸治療の臨床的効果の検討
    - パルス通電による単回使用ステンレス鍼の影響と折鍼の原因究明  
＜坂口俊二＞
    - 冷え症（血管運動神経障害）に対する下肢への低周波鍼通電療法の効果
    - 冷え症に対する酵素処理ヘスペリジンを主剤とする栄養補助食品の効果
    - 若年男女の冷え症を識別する項目の抽出とその診断精度の検討
    - 振動障害健診における健診項目と指爪床毛細血管像との関連

- ・蒙色による経穴現象の客観化の試み
- ・アスペルガー障害をもつ女兒に対する鍼灸治療  
＜木村研一＞
- ・鍼刺激の皮膚血管拡張反応に対する一酸化窒素（NO）の関与
- ・電子温灸による皮膚血管拡張反応に対する一酸化窒素（NO）の関与
- ・温熱療法が筋交感神経活動に及ぼす影響  
＜中吉隆之＞
- ・鍼灸治療所におけるリスクマネージメントの取り組み
- ・虹彩診断の有用性についての検討  
＜山崎寿也＞
- ・鍼通電刺激が循環に与える影響についての検討

#### 4. ユニット研究検討会開催報告

鍼灸学科では以前から研究検討会を開催していたが、ユニット再編を受けて、第13回から「鍼灸学ユニット研究検討会」と名称を改めた。

##### 第11回研究検討会

日 時：平成22年5月15日（木）午後4時半～

内 容：全日本鍼灸学会大阪大会の予行

発表者：木村研一、池藤仁美、平林大輔（大学院生）、田中義基（卒業生）

##### 第12回研究検討会

日 時：平成22年5月27日（木）午後6時～

内 容：全日本鍼灸学会大阪大会の予行

発表者：坂口俊二、百合邦子、尾家有耶

##### 第13回鍼灸学ユニット研究検討会

日 時：平成22年7月29日（木）午後5時半～

内 容：大学院での研究計画発表

発表者：下市善紀（大学院生）、春木淳二（大学院生）

##### 第14回鍼灸学ユニット研究検討会

日 時：平成22年10月7日（木）午後4時半～

内 容：日本鍼灸の内憂（鍼灸系大学存亡の危機）と外患（中国の世界戦略）－外患編

発表者：若山育郎

### 第15回鍼灸学ユニット研究検討会

日 時：平成22年12月20日（月）午後5時～

内 容：レイノー症候群と鍼灸治療

発表者：坂口俊二

### 第16回鍼灸学ユニット研究検討会

日 時：平成23年3月17日（木）午後5時～

内 容：鍼灸臨床における感染の問題点について

発表者：榎田高士

## C. 研究業績

### 1. 著書・原著

光岡幸生, 藤原義文, 尾崎朋文, 吉備 登, 米山 榮, 吉田 篤ら：鍼灸医療事故の事例／尾崎昭弘, 坂本 歩／鍼灸安全性委員会, 鍼灸医療安全対策マニュアル, 第1版, 東京, 医歯薬出版, 2010, 87-119

榎田高士：鍼灸医療事故の予防対策（事故発生の防止）／尾崎昭弘, 坂本 歩／鍼灸安全性委員会, 鍼灸医療安全対策マニュアル, 第1版, 東京, 医歯薬出版, 2010, 17-31

森本昌宏, 榎田高士：鍼灸治療と補完代替医療, 花岡一雄編, 癌性疼痛, 第1版, 東京, 克誠堂出版, 2010, 280-289

榎矢由梨絵, 東本悠作, 若山育郎：パーキンソン病に対する鍼治療効果 条件反転法を用いた検討, 関西医療大学紀要, 2010. 4, 67-74

若山育郎, 関隆志, 高澤直美, 東郷俊宏, 津谷喜一郎：WFAS 世界鍼灸学会連合会学術大会 in ストラスブルを終えて 鍼灸の国際標準化と中国の動向, 医道の日本, 2010, 69 (3), 23-36

若山育郎, 高澤直美, 石崎直人, 津嘉山 洋, 津谷喜一郎：第7回 WFAS 世界鍼灸学術大会（フランス・ストラスブル）参加報告－執行理事会および JSAM から WFAS 執行部への提案－, 全日本鍼灸学会雑誌, 2010, 60 (1), 91-99

若山育郎, 高澤直美, 石崎直人, 津嘉山 洋, 津谷喜一郎：世界鍼灸学会連合会（WFAS）鍼灸標準化シンポジウム参加報告－WFAS University Cooperation

Working Committee と WFAS Standard Working Committee－, 全日本鍼灸学会雑誌, 2010, 60 (2), 255-260

若山育郎, 形井秀一：世界鍼灸学会連合会（WFAS）鍼灸標準化シンポジウム参加報告（2010. 5. 18 北京）, 全日本鍼灸学会雑誌, 2010, 60 (4), 752-756

若山育郎：教育講演 パーキンソン病の診断と治療, 鍼灸治療の役割, 現代鍼灸学, 2010, 10 (1), 29-37

尾家有耶, 田中仁美, 坂口俊二, 木村研一, 近藤哲哉, 川本正純：恐怖症を伴う腰椎椎間板ヘルニア患者に対する鍼治療の1症例, 全日鍼灸会誌, 2010, 60 (2), 225-33

澤田和代, 北川善保, 坂口俊二, 郭 哲次：アスペルガー障害をもつ女兒に対する鍼灸治療, 全日鍼灸会誌, 2010, 60 (4), 737-43

坂口俊二, 久下浩史, 小島賢久, 竹田太郎, 宮寄潤二, 佐々木和郎ら：冷え症（血管運動神経障害）に対する下肢への低周波鍼通電療法の効果, 日温気候物理医学会誌, 2010, 73 (4), 231-40

坂口俊二, 秋田浩幸, 坂井愛子, 金井成行：成人男女の冷え症に対する酵素処理ヘスペリジン主剤とする栄養補助食品（Bodyology popotR）の効果, 新薬と臨床, 2010, 59 (8), 174-81

### 2. 学術講演・学会発表

吉備 登, 榎田高士, 川本正純, 吉田宗平：単回使用のステンレス毫鍼による折鍼事故とリスクマネジメント, 第59回全日本鍼灸学会学術大会, 大阪, 2010. 6

鈴木けい子, 吉備 登：勤労看護学生に行った代替医療教育の実践報告, 第59回全日本鍼灸学会学術大会, 大阪, 2010. 6

吉備 登, 中吉隆之, 王 財源, 遠藤 宏, 山本博司, 榎田高士, 一色田マリアエミリア, 川本正純：鍼の抜き忘れとリスクマネジメント, 第62回日本良導絡自律神経学会学術大会, 大阪, 2010.10

坂口俊二, 久下浩史, 宮寄潤二, 竹田太郎, 小島賢久, 佐々木和郎ら：血管運動神経障害（いわゆる冷え症）に対す

る低周波鍼通電療法の効果, 第75回日本温泉気候物理医学会総会・学術集会, 栃木, 2010.6

坂口俊二, 小島賢久, 竹田太郎, 宮嵯潤二, 久下浩史, 佐々木和郎ら: 体位変換負荷試験による若年女性の冷え症の客観的評価, 第59回全日本鍼灸学会学術大会, 大阪, 2010. 6

秋田浩幸, 坂井愛子, 坂口俊二, 金井成行: 冷え症に対する酵素処理ヘスペリジン主剤とする栄養補助食品の効果, 日本サーモロジー学会第27回大会, 東京, 2010. 7

秋田浩幸, 坂井愛子, 坂口俊二, 金井成行: 冷え症に対する酵素処理ヘスペリジン含有食品の検討, 日本健康科学学会第26回学術大会, 東京, 2010. 8

宮嵯潤二, 久下浩史, 竹田太郎, 坂口俊二, 森澤建行, 佐々木和郎ら: 健康関連 QOL, BMI からみた冷え症者の性別特性—非冷え症者との比較検討, 第11回日本 QOL 学会, 大阪, 2010. 9

坂口俊二, 小島賢久, 竹田太郎, 宮嵯潤二, 久下浩史, 鈴木 聡ら: 下肢血管反応による若年女性の冷え症評価, 第63回日本自律神経学会総会, 神奈川, 2010.10

木村研一: 頸腕症候群に対する鍼灸の効果と作用機序について—基礎研究からの考察—(シンポジウム「ここまでわかった鍼灸医学—基礎と臨床の交流」), 第59回(社)全日本鍼灸学会学術大会, 大阪, 2010. 6

木村研一, 田中仁美, 近藤哲哉, 若山育郎: 鍼刺激による皮膚血管拡張反応がリドカインによって抑制されるか, 第59回全日本鍼灸学会学術大会, 大阪, 2010. 6

木村研一, 若山育郎: 鍼刺激による皮膚血管拡張反応へのリドカインの影響, 第63回日本自律神経学会総会, 横浜, 2010.11

高岸美和, 和気秀文, ブイアモハド, グホサビン, 崔鶴, 向阪彰, 山崎寿也, 前田正信: Role of IL-6 in the nucleus tractus solitarius on cardiac baroreflex control in rats 心臓圧反射調節における延髄孤束核内 IL 6 の役割, 第87回日本生理学会大会, 岩手, 2010. 5

東本悠作, 山崎寿也, 榎田高士: 鍼治療における頭部接触後の手指消毒について, 第59回全日本鍼灸学会学術大会, 大阪, 2010. 6

山本博司, 榎田高士, 吉備 登, 増田研一, 近藤哲哉, 中吉隆之, 山崎寿也, 川島洋司, 北川洋志, 川村佳弘: 変形性膝関節症に対するはり治療の追跡調査—第2報—, 第59回全日本鍼灸学会学術大会, 大阪, 2010. 6

川村佳弘, 山本博司, 榎田高士, 吉備 登, 増田研一, 近藤哲哉, 中吉隆之, 山崎寿也, 北川洋志, 変形性膝関節症の重症度と MRI 所見, 第59回全日本鍼灸学会学術大会, 大阪, 2010. 6

中吉隆之, 百合邦子, 王 財源, 吉田宗平, 古代内丹説が東洋医学に与えた影響, 第59回全日本鍼灸学会学術大会, 大阪, 2010. 6

中吉隆之, 吉備 登, 王 財源, 遠藤 宏, 山本博司, 榎田高士, 一色田マリアエミリア, 川本正純: 関西医療大学鍼灸臨床でのリスクマネジメントの取り組み (第4報), 第62回日本良導絡自律神経学会学術大会, 大阪, 2010.10

### 3. その他

若山育郎: 神経内科における痛みと漢方, 京都漢方研究会, 京都, 2010. 2

若山育郎: シンポジウム 学会の課題と展望—国際部, 第59回(社)全日本鍼灸学会学術大会, 大阪, 2010. 6

若山育郎: 鍼灸の国際化—学問編と政治編, 第5回関西中医学ネットワーク, 大阪, 2010. 8

榎田高士, 吉岡正樹: 関西医療大学における出欠管理と授業評価アンケートについて, 第7回出欠確認研究会, 大阪市, 2010. 5

榎田高士: 長寿と健康—健康寿命をのばすために—, 熊取町教育委員会「熊取ゆうゆう大学 はつらつ世代講座」熊取町, 2010. 8

榎田高士, 吉岡正樹: i-MAS テスト導入の報告, 第11回FDメディア研究会, 大阪市, 2010.12

吉備 登：第8講座良導絡セミナー（反応良導点治療），第8回日本良導絡自律神経学会近畿支部講習会，大阪市，2010. 2

吉備 登：第9講座良導絡セミナー（良導絡治療におけるリスクマネジメント），第8回日本良導絡自律神経学会近畿支部講習会，大阪市，2010. 3

吉備 登：良導絡療法—測定から治療まで—腰下肢痛，医療技術研究会，四日市市，2010. 5

吉備 登：鍼灸医療のリスクマネジメント—鍼灸医療事故，有害事象対策—，平成22年度（社）埼玉県鍼灸師会第1回学術講習会，大宮市，2010. 7

吉備 登：第7講座良導絡セミナー（良導絡臨床 外科・整形外科系疾患），第9回日本良導絡自律神経学会近畿支部講習会，大阪市，2011. 2

坂口俊二：冷え症に対する鍼灸治療とセルフケア，兵庫県鍼灸マッサージ師会 夏期大学，明石市，2010. 8

坂口俊二：眼精疲労と鍼灸治療，「眼科と東洋医学」研究会，神戸市，2010.11

木村研一：平成21年～22年文部科学省科学研究費補助金（若手B継続）「鍼刺激による皮膚血管拡張反応の機序について—マイクロダイアリス法による検討—」